

# 病院だより

Vol. 1 2009 春号  
2009年3月1日発行

ココロとカラダのメディカル通信

〒336-0931 さいたま市緑区原山3-15-31 TEL:048-882-2867 FAX:048-882-2887 URL:http://members.jcom.home.ne.jp/home-Kyousai/ 発行人:星野 徹

特集

## 再び地域に根ざした病院を目指して

昭和36年に開設された共済病院は、そろそろ開設50年を迎えます。創設以来、地域に根ざした病院を目指してきた病院が、激動する医療の世界で、新しい理念に基く医療活動を行い、また、地域との連携をより深めるため、「病院だより」を創刊しました。そこでこの機会に病院の歴史をひもといてみたいと思います。



博仁会共済病院理事長・院長 星野 徹

### ●なりたち

共済病院の前身は、現老人ホーム尚和園の医療施設で、昭和27年尚和園内の病院として組織を改めて、当時無医村に近い周辺住民のために大いに貢献しました。その後、当時この病院の勤務医であった故永堀善作氏（東大・外科）の努力により、尚和園の用地の一部を譲り受け、昭和36年12月尚和園から独立し、医療法人博仁会共済病院として現在の地に開設されました。

### ●その後の病院

後に院長となった永堀氏の活躍により、病院は隆盛を迎えました。当時、周辺にこれといった病院もなく、内科・外科ともに地域住民に頼られる存在になっていました。しかし昭和57年、当時理事長となっていた永堀氏の死去、又周辺に新しく病院が設立されたことなどもあり、病棟構成の変更を

余儀なくされ、平成4年に老人病棟を開設し（現在は療養病棟と称します）現在に至っています。又その頃、昭和52年に永堀氏の跡を継いだ、故藤岡萬雄院長（東大・内科）により、自治医科大学との連携が深まりました。

### ●付属病院ではありません

これまでに紹介したとおり、共済病院は尚和園の付属病院というわけではありません。組織も全く別で、職員の人事交流も殆どありません。よく間違えられますが、それぞれ独立した存在です。ただ尚和園の医療施設から現病院が発展したということもあり、親戚関係と言え言えるかもしれません。

### ●共済病院の現状と課題

現在、医療の世界は激動の時代を迎えています。それは、皆さんが日々テレビ・新聞等で見聞きしているとおり

です。共済病院もその例外ではありません。病院スタッフは、日々新しい病院像を模索しているところです。老人病院という風評からの脱却、新しい医療技術の習得、施設のリニューアル等を日々考えています。しかし、やはり一番大事なことは地域に愛され、根付いていることでしょうか。私たちはその目標に向かい研鑽を重ねていく決意です。



病院に来たとき、はじめに接触する病院職員は、受付の事務職員、次に看護師さん、そしてお医者さん。その職員の中で、患者さんにとっては、「どんなお医者さんが自分を診察してくれるのかしら？」が一番関心のあることでしょう。共済病院には常勤・非常勤の医師がいますが、その内の常勤医師についてエピソードも交えて紹介をしてみましょう。



### 星野 徹 理事長・院長

外科の先生です。風貌はもしかしたら職業を間違えたのではないかと思われるようです。それもそのはず先生は、かの早大・明大と並ぶ学生ラグビー界の名門？自治医科大学ラグビー部で、しかもFW第1列をつとめたという猛者なのであります。しかし、器用さは抜群、手術の腕前は口は八丁、いやいや一六丁の看護師さん達が、口をそろえて感心するほどの腕前なのであります。もう一つ内緒ですが、先生は、かの浦和レッズの追っかけなのであります。さいたまスタジアム2002で試合があるときは、勤務を終えて赤いユニホームを纏い、自転車で全速力で会場に駆けつける先生の姿をかいま見ることができます。

### 本松 茂 副院長

内科・婦人科の先生です。優しい先生ですが、時には非常に厳しく問題点を指摘することもあり、職員の中には、いささか敬遠する向きもあります。しかし本当は物わかりの良い先生です。先生の趣味といえばスキーですが、実は先生はお医者さんの仲間でバンドを結成しています。年に数回はコンサートを開いていますが、公演が近づくと練習のために副院長室からハモる声が……。ご当人は歌手？の傍ら医者をしているのだとうそぶいているのであります。



### 仲 公正 健診部長

平成20年6月に当病院に新しく参加された内科・皮膚科の先生です。本松副院長と自治医科大学の同期生です。実は、病棟での看護師さん達の評判は抜群なのであります。「仲先生は、本当に優しくていい先生ね」と看護師さん達にモテモテなのであります。他の男性の先生方は「ああ、そうですか。」と無関心を装うのであります。

### 田代友之 診療部長

内科・消化器内科の先生です。埼玉県は行田市の出身で、国立琉球大学を出て自治医科大学さいたま医療センターで医師としてのトレーニングを受けました。その後この病院に派遣され、常勤医として勤務することとなりました。親しみやすい人柄のためか、外来担当の看護師さんが急に緊急の患者さんを診なければならなくなったような時には、先生にお願いすることが多くなるのであります。困ったときのDr.田代頼みななのであります。



### 村山 淳子 先生

内科・皮膚科の先生です。地元さいたま市の出身で、共済病院でただ一人の女性常勤医です。国立鳥取大学を出て、田代先生と同じく自治医科大学さいたま医療センターでトレーニングを受けました。先生の趣味はバードウォッチングで、自然保護にとっても関心があります。時には一人でバードウォッチングの旅に出ているようであります。

以上、簡単に紹介いたしました。それぞれ個性にあふれた先生方ですが、こと病気の治療にかけては真剣に取り組みます。病院に来たら、気楽に気遣いせずに遠慮なく相談してください。きっと皆さんによりよい結果を生むことと思います。